

開講年度	令和7年度	開講期間	通年(後期)
科目名	臨床動作分析学		
担当教員	三吉 舞子		
学年	3年	学科	理学
単位数	2単位	時間数	60(30)時間
授業の概要	異常動作について学習し、移乗動作・代償動作の原因について学ぶ。		
学習目標	正常動作を元に、各疾患における異常動作並びに代償動作の分析を行う為の基礎知識習得と観察・洞察力を高める。		
授業計画	16. 異常歩行 17. 異常歩行 18. 異常歩行 19. 異常歩行 20. 異常歩行 21. 異常歩行 22. 異常歩行 23. 変形性股関節症（症例） 24. 変形性股関節症（症例） 25. 変形性股関節症（症例） 26. 変形性膝関節症（症例） 27. 変形性膝関節症（症例） 28. 脳血管障害（症例） 29. 脳血管障害（症例） 30. まとめ		
教科書	『理学療法士のための6ステップ式臨床動作分析マニュアル』【編】黒川幸雄 他（文光堂）		
参考書	適宜伝達します。		
評価方法	期末試験		
備考	正常の動作を理解したうえで臨んでください。		

開講年度	令和7年度	開講期間	後期
科目名	神経筋障害理学療法		
担当教員	三吉 舞子		
学年	3年	学科	理学
単位数	1単位	時間数	30時間
授業の概要	疾患の注意点を理解し、必要な治療・方法について学ぶ。		
学習目標	1. 疾患別の病態、注意点、禁忌を学ぶ。 2. 疾患別の全体的な評価、理学療法の流れを学ぶ。		
授業計画	1. オリエンテーション、神経難病とは 2. 筋萎縮性側索硬化症 病態、評価、理学療法、留意点 3. 筋萎縮性側索硬化症 実技① 4. 筋萎縮性側索硬化症 実技② 5. パーキンソン病 病態、評価、理学療法、留意点 6. パーキンソン病 実技① 7. パーキンソン病 実技② 8. 脊髄小脳変性症 病態、評価、理学療法、留意点 9. 脊髄小脳変性症 実技 10. 多発性硬化症 病態、評価、理学療法、留意点 11. ギランバレー症候群 病態、評価、理学療法、留意点 12. 重症筋無力症 病態、評価、理学療法、留意点 13. 筋ジストロフィー 病態、評価、理学療法、留意点 14. ケーススタディー 15. 国家試験対策		
教科書	『系統理学療法学 神経障害系理学療法学』【著】丸山仁司（医歯薬出版）		
参考書	『理学療法テキスト神経障害理学療法学II（15レクチャーシリーズ）』【編】石川朗（中山書店）		
評価方法	筆記試験		
備考	各疾患の病態、症状、疾患特性などを理解したうえで講義に臨んで下さい。		

開講年度	令和7年度	開講期間	通年(後期)
科目名	内部障害理学療法		
担当教員	久保田 千代美		
学年	3年	学科	理学
単位数	2単位	時間数	60(30)時間
授業の概要	循環器・代謝疾患に対するリハビリテーションを行う際は、病態の理解だけでなく、リスクに対する知識も必要になってくる。解剖・生理学や疾患学、理学療法など講義形式で行う。		
学習目標	循環器・代謝疾患ごとのさまざまな病態や障害を理解し、医療現場での効果的療法・リスク管理を習得する。		
授業計画	16. 心臓の解剖と機能 17. 心電図①(基本) 18. 心電図②(不整脈) 19. 心電図③(不整脈) 20. 虚血性心疾患 21. 心不全 22. 心不全に対するリハビリテーション 23. 心臓弁膜症 24. 大動脈疾患(大動脈瘤・大動脈解離) 25. 先天性心疾患 26. 末梢血管疾患① 27. 末梢血管疾患② 28. 代謝性疾患①(糖尿病①) 29. 代謝性疾患②(糖尿病の合併症) 30. 代謝性疾患③(糖尿病の治療)		
教科書	『病気がみえる vol.2 循環器』【編】医療情報科学研究所 (メディックメディア)		
参考書	『理学療法テキスト内部障害理学療法学 循環・代謝(15レクチャーシリーズ)』【編】石川朗、玉木彰(中山書店)		
評価方法	筆記試験(前期試験と後期試験の合算で判定)、出席状況、授業態度		
備考			

開講年度	令和7年度	開講期間	通年(後期)
科目名	脊椎・脊髄障害理学療法		
担当教員	植田 一輝		
学年	3年	学科	理学
単位数	2単位	時間数	60(30)時間
授業の概要	脊椎・脊髄障害に対しての理論と実践を、講義と体験を通して学ぶ。		
学習目標	脊髄損傷に伴う病態とその障害を理解し、脊髄損傷に対するリハビリテーション全般を学び、社会復帰にむけた総合的な援助ができるようになることを目指す。		
授業計画	16. 除圧動作① 17. 除圧動作② 18. 床上動作(寝返り動作・起き上がり動作)の理解① 19. 床上動作(寝返り動作・起き上がり動作)の理解② 20. 長坐位・座位姿勢① 21. 長坐位・座位姿勢② 22. プッシュアップ動作① 23. プッシュアップ動作② 24. 移乗動作の理解① 25. 移乗動作の理解② 26. 頸髄損傷者の自助具(日常生活編)の理解① 27. 頸髄損傷者の自助具(日常生活編)の理解② 28. 頸髄損傷者の日常生活動作訓練 29. 国家試験対策① 30. 国家試験対策②		
教科書	『脊髄損傷 理学療法マニュアル』【編】岩崎 洋(文光堂)		
参考書	『脊髄損傷マニュアルーリハビリマネージメントー』 【編】神奈川県リハビリテーション病院脊髄損傷マニュアル編集委員会 (医学書院) 『頸髄損傷者のための 自己管理支援ハンドブック』 【編】国立別府重度障害者センター頸髄損傷者自己管理支援委員会(中央法規)		
評価方法	期末試験、出席状況によって総合的に評価する。		
備考	日々復習を心掛けてください。		

開講年度	令和7年度	開講期間	後期
科目名	スポーツ傷害理学療法		
担当教員	辰己 大二		
学年	3年	学科	理学
単位数	1単位	時間数	30時間
授業の概要	競技に必要な動作や評価、アプローチ方法を学ぶ		
学習目標	スポーツ選手はけがをした後、社会復帰だけでなく競技復帰を目的としたリハビリテーションが必要である。整形外科疾患の知識だけでなく、スポーツ動作の特性に注目した外傷・障害、アスレティックリハビリテーションを学ぶ。		
授業計画	1. スポーツ傷害概論 2. 応急処置 3. 上肢のスポーツ傷害 4. 上肢のアスレティックリハビリテーション・実技 5. 下肢のスポーツ傷害 6. 下肢のアスレティックリハビリテーション・実技 7. 頸部・体幹のスポーツ傷害 8. 頸部・体幹のアスレティックリハビリテーション・実技 9. 各種競技の傷害特性 10. 整形外科的テスト・実技 11. テーピング概論 12. テーピング実技 13. 足底挿板概論・体験 14. 投球動作の評価とアスレティックリハビリテーション 15. まとめ		
教科書	適宜必要資料配布		
参考書	「スポーツリハビリテーションの臨床」【監修】青木治人・清水邦明 【編集】鈴川仁人（メディカルサイエンスインターナショナル）「ファンクショナル・エクササイズ」【著】川野哲英（ブックハウスHD）		
評価方法	期末試験・受講態度等。		
備考	実技を行う時は動きやすい服装で出席してください。		

開講年度	令和7年度	開講期間	通年(後期)
科目名	日常生活活動学		
担当教員	三吉 舞子		
学年	3年	学科	理学
単位数	2単位	時間数	60(30)時間
授業の概要	疾患に合わせた動作指導について学ぶ。		
学習目標	前期で学んだことを踏まえ、疾患ごとの特徴を鑑みた上でのADLのアプローチを理解すること。		
授業計画	16. 基本的ADL①食事 17. 基本的ADL②整容・更衣 18. 基本的ADL③排泄・入浴 19. パーキンソン病のADL 20. 大腿骨頸部骨折のADL 21. 変形性膝関節症のADL 22. 関節リウマチのADL 23. 腰痛症のADL 24. 呼吸器疾患のADL① 25. 呼吸器疾患のADL② 26. 循環器のADL① 27. 循環器のADL② 28. 糖尿病のADL① 29. 糖尿病のADL② 30. 高齢者のADL		
教科書	『PT・OTビジュアルテキスト ADL』【編】柴 喜崇（羊土社） 『実践リハビリテーション・シリーズ 脳卒中の機能評価 SIASとFIM(基礎編)』 【著】千野直一 他（金原出版株式会社）		
参考書	なし(資料として配付する場合があります)		
評価方法	期末試験・受講態度等。		
備考	それぞれの疾患の特徴を復習して講義に臨んでください。		

開講年度	令和7年度	開講期間	通年(後期)
科目名	理学療法技術論		
担当教員	辰己 大二		
学年	3年	学科	理学
単位数	2単位	時間数	60(30)時間
授業の概要	臨床現場に必要なスキルを学ぶ		
学習目標	理学療法の治療技術を学習し、評価・治療技術について理解を深め、臨床上での評価方法・治療技術について演習を行う。		
授業計画	16. 筋力トレーニング① 17. 筋力トレーニング② 18. 筋力トレーニング③ 19. レッドコードニューラック 20. 固有受容性神経筋促通法(PNF) 21. テーピング総論 22. テーピング(足関節を中心に) 23. キネシオテーピング(基礎編) 24. 足と靴① 25. 足と靴②(フットプリンター実習) 26. 松葉杖・T字杖処方① 27. 松葉杖・T字杖処方② 28. 医療マッサージ 29. まとめ① 30. まとめ②		
教科書	配布資料		
参考書	『スポーツリハビリテーションの臨床』【著】青木治人、清水邦明 【編集】鈴川仁人(メディカル・サイエンス・インターナショナル) 『ファンクショナル・エクササイズ』【著】川野哲英(ブックハウスHD)		
評価方法	期末試験 授業態度		
備考	この科目は実務経験のある教員による授業科目である。		

開講年度	令和7年度	開講期間	通年(後期)
科目名	臨床実習前教育学		
担当教員	馬淵統大		
学年	3年	学科	理学
単位数	6単位	時間数	180(90)時間
授業の概要	評価実習で見た課題を振り返り、長期実習に向けて技術・知識の向上を目指す。		
学習目標	提示した症例に対し、評価項目の選択や問題点について再考する。 また、長期実習に向け、評価技術の向上を図り、治療プログラムについても学ぶ。		
授業計画	46. 評価実習の振り返り① 47. 評価実習の振り返り② 48. 評価実習の振り返り③ 49. 評価実習の振り返り④ 50. 評価実習の振り返り⑤ 51. 症例に対する理学療法評価の実践・臨床思考過程 52. 症例に対する理学療法評価の実践・臨床思考過程 53. 症例に対する理学療法評価の実践・臨床思考過程 54. 症例に対する理学療法評価の実践・臨床思考過程 55. 症例に対する理学療法評価の実践・臨床思考過程 56. 症例に対する理学療法評価の実践・臨床思考過程 57. 症例に対する理学療法評価の実践・臨床思考過程 58. 症例に対する理学療法評価の実践・臨床思考過程 59. 症例に対する理学療法評価の実践・臨床思考過程 60. 症例に対する理学療法評価の実践・臨床思考過程 61. 症例に対する理学療法評価の実践・臨床思考過程 62. 症例に対する理学療法評価の実践・臨床思考過程 63. 症例に対する理学療法評価の実践・臨床思考過程 64. 症例に対する理学療法評価の実践・臨床思考過程 65. 症例に対する理学療法評価の実践・臨床思考過程 66. 症例に対する理学療法評価の実践・臨床思考過程 67. 症例に対する理学療法評価の実践・臨床思考過程 68. 症例に対する理学療法評価の実践・臨床思考過程 69. 症例に対する理学療法評価の実践・臨床思考過程 70. 症例に対する理学療法評価の実践・臨床思考過程 71. 症例に対する理学療法評価の実践・臨床思考過程 72. 症例に対する理学療法評価の実践・臨床思考過程 73. 症例に対する理学療法評価の実践・臨床思考過程 74. 症例に対する理学療法評価の実践・臨床思考過程 75. 症例に対する理学療法評価の実践・臨床思考過程 76. 症例に対する理学療法評価の実践・臨床思考過程 77. 症例に対する理学療法評価の実践・臨床思考過程 78. 症例に対する理学療法評価の実践・臨床思考過程 79. 症例に対する理学療法評価の実践・臨床思考過程 80. 症例に対する理学療法評価の実践・臨床思考過程 81. 総合臨床実習に向けての実技演習 82. 総合臨床実習に向けての実技演習 83. 総合臨床実習に向けての実技演習 84. 総合臨床実習に向けての実技演習 85. 総合臨床実習に向けての実技演習 86. 総合臨床実習に向けての実技演習 87. 総合臨床実習に向けての実技演習 88. 総合臨床実習に向けての実技演習 89. 総合臨床実習に向けての実技演習 90. 総合臨床実習に向けての実技演習		
教科書	『基礎から確認！PT臨床実習チェックリスト』【著】青木主税（メジカルビュー社）		
参考書			
評価方法	出席、出席態度、発表、提出物、期末試験(実技)		
備考	それぞれ評価項目、問題点、治療プログラムについて発表し再考する。 授業の際は実習着着用。実習に臨む身なり(アクセサリ等装着不可)で参加すること。		

開講年度	令和7年度	開講期間	通年(後期)
科目名	地域理学療法学		
担当教員	伊吹 太郎		
学年	3年	学科	理学
単位数	2単位	時間数	60(30)時間
授業の概要	訪問リハビリテーションでのADL評価と治療について学ぶ		
学習目標	高齢者・障がい者の在宅生活が、医療・福祉制度の中でも重要な課題となっている現在、地域におけるリハビリテーションの概念や機能、理学療法士業務と役割、他職種の業務と連携の重要性、基本的な法制度について学ぶ。		
授業計画	16. 通所サービスの展開 17. 訪問における理学療法の展開 18. 訪問リハビリテーションの制度とメディカルチェック 19. 訪問リハビリテーションでの評価と治療(食事) 20. 訪問リハビリテーションでの評価と治療(排泄) 21. 訪問リハビリテーションでの評価と治療(整容) 22. 訪問リハビリテーションでの評価と治療(更衣) 23. 訪問リハビリテーションでの評価と治療(入浴・外出) 24. シーティングの基本について 25. シーティングの実際 26. 地域・居宅高齢者の体力増進とリスク管理について 27. 中枢神経系疾患に対する在宅での理学療法 28. 筋・骨格系疾患に対する在宅での理学療法 29. 事例を通して見る援助の実際① 30. 事例を通して見る援助の実際②・まとめ		
教科書	使用しない		
参考書	『図説 訪問リハビリテーション』【著】青山智 (三輪書店)		
評価方法	期末試験 授業態度		
備考			

開講年度	令和7年度	開講期間	通年(後期)
科目名	理学療法国家試験演習		
担当教員	植田 一輝		
学年	3年	学科	理学
単位数	8単位	時間数	240(30)時間
授業の概要	神経筋障害、義肢装具学の基礎知識と考え方を中心に講義を実施し、国家試験の出題傾向と学習方法を学ぶ。		
学習目標	国家試験に向けて、神経筋障害、義肢・装具、ADLの専門問題についての国家試験対策を行う。 国家試験問題の解説を行い、併せて学習方法について教示する。		
授業計画	16. 神経筋障害1 17. 神経筋障害2 18. 神経筋障害3 19. 神経筋障害4 20. 神経筋障害5 21. 神経筋障害6 22. 確認テスト 23. 義肢・装具1 24. 義肢・装具2 25. 義肢・装具3 26. ADL1 27. ADL2 28. ADL3 29. 確認テスト 30. まとめ		
教科書	『病気がみえる(vol.7)脳・神経』【著】医療情報科学研究所 (メディックメディア) 『PT・OT基礎から学ぶ 運動学ノート』(医歯薬出版) 『標準神経病学』【編】栗原照幸 他 (医学書院) 『義肢装具のチェックポイント』【監修】日本整形外科学会 (医学書院) 『PT・OTビジュアルテキスト ADL』【編】柴 喜崇 (羊土社) 『実践リハビリテーション・シリーズ 脳卒中の機能評価 SIASとFIM(基礎編)』 【著】千野直一 他 (金原出版株式会社)		
参考書	『理学療法士 作業療法士国家試験問題 解答と解説』(医歯薬出版) 『クエスチョン・バンク 理学療法士 国家試験問題解説 専門問題』(医歯薬出版) 『PT/OT国家試験必須ポイント障害別PT治療学』(医歯薬出版)		
評価方法	筆記試験 (前期試験と後期試験の合算で判定します)		
備考			

開講年度	令和7年度	開講期間	通年(後期)
科目名	理学療法国家試験演習		
担当教員	馬淵 統大		
学年	3年	学科	理学
単位数	8単位	時間数	240(30)時間
授業の概要	国家試験出題の整形疾患に関わる知識の向上を目指す。		
学習目標	国家試験に向けて、解剖学・生理学・運動学の基礎問題および整形外科疾患、運動器障害、評価学の専門問題についての国家試験対策を行う。 国家試験問題の解説を行い、併せて学習方法について教示する。		
授業計画	16. 整形外科① 17. 整形外科② 18. 整形外科③ 19. 整形外科④ 20. 整形外科⑤ 21. 整形外科⑥ 22. 確認テスト 23. 基礎3科目復習① 24. 基礎3科目復習② 25. 基礎3科目復習③ 26. 評価学① 27. 評価学② 28. 評価学③ 29. 確認テスト 30. まとめ		
教科書	1～3年次の教科書すべて 『PT・OT基礎から学ぶ 運動学ノート』（医歯薬出版）		
参考書	『標準整形外科学』【著】北野正剛ほか（医学書院） 『ビジュアル実践リハ 整形外科リハビリテーション』【著】神野哲也(羊土社)		
評価方法	筆記試験（前期試験と後期試験の合算で判定します）		
備考			

開講年度	令和7年度	開講期間	通年(後期)
科目名	理学療法国家試験演習		
担当教員	信原 遼		
学年	3年	学科	理学
単位数	8単位	時間数	240(30)時間
授業の概要	国家試験合格に向け呼吸・循環・代謝の知識を身につける		
学習目標	国家試験に向けて、腎臓・肺・心臓に関する解剖学・生理学・運動学、内部障害の専門問題についての国家試験対策を行う。 国家試験問題の解説を行い、併せて学習方法について教示する。		
授業計画	16. 呼吸器疾患① 17. 呼吸器疾患② 18. 循環器疾患① 19. 循環器疾患② 20. 循環器疾患③ 21. 循環器疾患④ 22. 循環器疾患⑤ 23. 循環器疾患⑥ 24. 不整脈① 25. 不整脈② 26. 不整脈③ 27. 代謝性疾患① 28. 代謝性疾患② 29. 代謝性疾患③ 30. 代謝性疾患④		
教科書	『PT・OT基礎から学ぶ 運動学ノート』（医歯薬出版） 『最新理学療法学講座 内部障害理学療法学』【著】高橋哲也（医歯薬出版）		
参考書	『理学療法士 作業療法士国家試験問題 解答と解説』（医歯薬出版） 『クエスチョン・バンク 理学療法士 国家試験問題解説 専門問題』（医歯薬出版） 『PT/OT国家試験必須ポイント障害別PT治療学』（医歯薬出版）		
評価方法	筆記試験（前期試験と後期試験の合算で判定します。）		
備考			

開講年度	令和7年度	開講期間	通年(後期)
科目名	理学療法国家試験演習		
担当教員	伊吹 太郎		
学年	3年	学科	理学
単位数	8単位	時間数	240(30)時間
授業の概要	国家試験合格に向脳血管障害を中心に知識を身につける		
学習目標	国家試験に向けて、神経に関する解剖学・生理学、脳血管障害の専門問題についての国家試験対策を行う。 国家試験問題の解説を行い、併せて学習方法について教示する。		
授業計画	16. 脳血管障害 画像① 17. 脳血管障害 画像② 18. 脳血管障害① 19. 脳血管障害② 20. 脳血管障害③ 21. 脳血管障害④ 22. 脳血管障害⑤ 23. 脳血管障害⑥ 24. 小児疾患① 25. 小児疾患② 26. 小児疾患③ 27. 小児疾患④ 28. まとめ 29. まとめ 30. まとめ		
教科書	『PT・OT基礎から学ぶ 運動学ノート』（医歯薬出版） 『脳卒中理学療法の理論と技術』【編】原寛美・吉尾雅春（メジカルビュー社） 『脳卒中に対する標準的理学療法介入 何を考え、どう進めるか？』【編】潮見泰蔵（文光堂） 『写真で見る 乳児の運動発達 生後10日から12ヶ月まで』【著】Lois Bly（協同医書出版） 『シンプル理学療法学シリーズ 小児理学療法学テキスト』【著】田原弘幸・大城昌平（南江堂）		
参考書	『理学療法士 作業療法士国家試験問題 解答と解説』（医歯薬出版） 『クエスチョン・バンク 理学療法士 国家試験問題解説 専門問題』（医歯薬出版） 『PT/OT国家試験必須ポイント障害別PT治療学』（医歯薬出版）		
評価方法	筆記試験（前期試験と後期試験の合算で判定します）		
備考			